



▼ 充実した学生生活のヒントを教えてください 卒業生の皆さん

### 卒業生 トークショー

充実した「専大ライフ」(野村證券)平19経がうかがわれた。就職活フを送り「希望の就(西川仁美さん)三動を控えた3年次生から職」をかなえ、活躍中の三菱東京UFJ銀行(平17は「いつごろから就職を卒業生によるトークショ法)、「卒業生が教えてください」卒業生が教えてください。石原業が求める人材像とは「授業では教えてくれ 伶奈さん(テレビ東京)「シユウカツのモチベール」が4月12日、平19文)、太田吉紀さん ションを保ち続けた秘

**充実した学生生活のヒント満載**

生田キャンパスで開か(凸版印刷)平19商)の 訣は「その企業を選んれ、1年次生から3年次 5人。1年次生からは「大ポイント」などとい生まで約150人が参 学時代にやっておくべき った具体的な質問が出さ加。先輩たちの熱いメッ こと」「語学能力は必要 せ、卒業生たちは時間をセージから大学生活、就か」などの質問があり、オーバーするほどの、熱職活動のヒントを得た。4年間のスタートにあたいメッセージを伝えてく講師は、和田興佳さん り不安に思っている様子 された。

# 就職課 WAKUWAKUときめき専修21

二つのプログラム

対話型・参加型プログラム「ワークシヨップ in Senshu」。外資系コンサル企業で1000社近くの研修を手がけた講師の東浩司さんと就職課スタッフが共同で企画・実施している。期間は5月7月の毎週火曜日。毎回、講師の豊富な人脈が

「原体験」を知ることで、小学校入学前から高校までの間の出来事を書きこむことで、これまでの自分を振り返りあげた「原体験」を見つけた。講師は「人事採用面接では、ポテンシャル(潜在能力)と人間性を見る

「原体験」を知ること、生き方に迫力が出る」と締めた。

受講生は1年次生から3年次生まで約30人。1年次生は「授業だけの学生生活にしたいくなかった」、3年次生は「就職活動まで何をしたいの不安だった」といった参加動機が多い。本音で語り合ううちに、「さまざまな価値観をもった人がいることがわかった」「自分が何をできるのか、どういう方向に進みたいのかがわかり始めた」といった感想が聞かれた。

## 学部・学年を超えたワークシヨップで

### 「自分探し」から「自分づくり」へ



▲ 自分の「原体験」を見つけるワーク

半は「自分」を知るための「自己分析」「モチベーション分析」「自分史をつくる」「ライフヒストリー分析」など。後半は、業界の最新情報、ワークライフバ

「自分探し」から「自分づくり」へ

「自己分析」を始める。全10回の前半は「自分」を知るための「自己分析」「モチベーション分析」「自分史をつくる」「ライフヒストリー分析」など。後半は、業界の最新情報、ワークライフバ

「原体験」を知ることで、小学校入学前から高校までの間の出来事を書きこむことで、これまでの自分を振り返りあげた「原体験」を見つけた。講師は「人事採用面接では、ポテンシャル(潜在能力)と人間性を見る

「原体験」を知ること、生き方に迫力が出る」と締めた。

受講生は1年次生から3年次生まで約30人。1年次生は「授業だけの学生生活にしたいくなかった」、3年次生は「就職活動まで何をしたいの不安だった」といった参加動機が多い。本音で語り合ううちに、「さまざまな価値観をもった人がいることがわかった」「自分が何をできるのか、どういう方向に進みたいのかがわかり始めた」といった感想が聞かれた。

## 専門職養成講座「アナウンサーへの道」

### 1期生が「東京キー局・アナウンサー職」に内定



▲ 基本の発声練習から講座はスタートする

昨年からは始まった専門 田まりえさん(次項参 林健治さんも協力して職養成講座「アナウンサーへの道」1期生から、している。東京キー局・アナウンサー 今年1年次生から4職に内定者を輩出(上 年次生まで26人が全50回 ほか、発声発音の基礎のハードな講座に取り組んでいる。講師は、フリーアナウンサーの山本勇さん。100人を超える「プロアナ」を輩出した私塾を30年間主宰。私塾1期生で元日本テレビの若選考の進捗にあわせた力

「一人ひとりの成長を見つめる 細やか指導で「社会人力」形成

「一人ひとりの成長を見つめる 細やか指導で「社会人力」形成

「一人ひとりの成長を見つめる 細やか指導で「社会人力」形成



石田さん

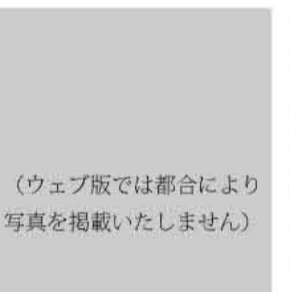


表・石田達

取材日はマイク実技の講座。西村麻実さん(文3)は「体験」で「専大」の授業を紹介している

「心」を磨いている感じがします。

「やればできる」ということを教えてくれた上田さんにぜひ続けたい、と意欲を見せている。



(ウェブ版では都合により写真を掲載いたしません)

### 上田まりえさん(文4)

## 「夢」は語り続けられかなう

インタビュー

エンタリースターの写真欄には、週3回通ったというパッティングセンターでの「雄姿を張り、得意分野をアピール。数千倍という難関を突破し、小学生のころからの「夢」を実現した。

早稲田大学野球部の練習場に 言葉が教えてもらい、実践す顔を出してみた。「スコアブックのように、心がけた。

自分で番組をつくり、自分の言葉で話す楽しさを知る。県代表で夏を教えるもったという榮な気ささをより詳しく教わった 持ちで臨んだことがよかった

「夢」は語り続けられかなう

「夢」は語り続けられかなう

「夢」は語り続けられかなう